

壇の岡

11月22日(金) 第71号
 発行責任者
 鮫川中学校長 角田敏文

教育目標

学ぶ心
 よく学び自己を高める生徒
 美しい心
 心豊かで思いやりがある生徒
 強い心
 心身を鍛えたくましい生徒

こちらから
 各学年だより
 等がスマートフォン
 からもご覧
 できます。



スピーキング コンテストに向けて

東西しらかわの中学校では、毎年一月に英語力向上のために、スピーキングコンテストを実施しています。

鮫川中学校では、昨年度より一か月早く11月より週3日スピーキングコンテストに向けた取り組みを開始しました。12月からは、毎日、朝自習の時間を利用し、毎日二十問前後のテストを行い、90%以上を合格としています。本日、問題等を配付しました。練習する時間は沢山あります。地道に継続的に丁寧な学習(努力を)してほしいです。

継続は力なり

継続を可能にするのは意思の強さです。

継続は意思の力なり

という事です。強い意志をもつてほしいです。

再確認を

二学期の定期テスト終了し、解答紙が返却されましたが、ご覧になられたでしょうか。

自己採点↓分析(反省) ↓計画
 実践↑(テスト) ↑作戦↑練習

すべて高校入試を見据えた取り組みです。三者面談後、子どもたちの授業に対する意識・目つき・態度・真剣さが変わったという声を多くの先生方から聞くようになりました。また、家庭学習の内容や量が充実してきたり、休み時間に合う姿が随所に見られるようになってきました。授業の大切さが再度理解できたのではないのでしょうか。ご家庭でも、進路に向けて真剣な話し合いがあったらどうでしょうか。

保護者の言葉に素直に耳を傾ける今のうちに、家庭での学習環境や習慣・心構えを確認してほしいです。お子さんの取り組みを認める。早い段階から習慣化されたい。学習・心構えは、必ず高校入試時に自信につながります。

読書と家庭での会話

もともと言葉には二つの要素があります。思考の手段と伝達の手段です。人は何かを考えたときは、必ず言葉を使って考えます。たくさん言葉を知っていると、たくさん言葉を知っているという概念を知っていることなわけです。特に学習においては、語彙の多い少ないは決定的です。話を聞き取ったり文章を読み取りたりする能力も語彙力が決まります。たくさん言葉の身につければ、考える力が豊かになります。どうしたら、語彙を豊かにすることができのでしょうか。現代では、多くの情報が目や耳からたくさん入ってくるが、あまり頭には残らないように感じます。しかし、読書で得た情報や言葉は心と頭に残りませぬか? 深く考える時につかう言葉がたくさん身につけるには、やはり読書が一番なのです。

次にその得られた語彙をより豊かなものにするために必要なのは表現やコミュニケーションへの意欲です。自己表現とコミュニケーションは個人の間関係を左右するとても大切なものです。そのため、家庭での楽しい会話はとても大切です。この家庭での経験から子供は表現への意欲とコミュニケーション

25	26	27	28	29	30	1
月	火	水	木	金	土	日
	避難訓練	3年実力テスト 思春期講話(2年) 職員会議・NO部活動デー	進路対策委員会		協会長杯バレーボール大会	協会長杯バレーボール大会

週の行事予定

ケーシヨンの楽しさを知り、豊かな人間関係を構築する一歩となっていくのです。



3年生廊下の合格神社